

潰瘍性大腸炎およびクローン病で通院中の患者さまへ

当院は、旭川医科大学が研究している「炎症性腸疾患（主に潰瘍性大腸炎とクローン病）の臨床検査・治療実態把握のための研究」に共同研究施設として研究に参加しています。この研究では、これまでに記録されてきた炎症性腸疾患の患者さまの診療情報を取り扱います。研究の内容は下記のとおりとなっております。この研究に関するお問い合わせ、又は参加を希望されたくない方は、主治医または当院の内科医までお願いします。

記

1. 研究名

炎症性腸疾患の臨床検査・治療実態把握のための多施設共同後ろ向きコホート研究：旭川 IBD データベース

2. 研究期間

2022年6月2日 ～ 2031年3月31日

3. 研究対象

1990年1月1日～2031年3月31日に町立中標津病院内科に通院されている、潰瘍性大腸炎、クローン病、分類不能型腸炎の方。

4. 利用する試料・情報の種類

診療情報（カルテの情報）【年齢、性別、発症日、罹患期間、治療内容、投薬内容、投薬期間など】

5. 研究の目的

炎症性腸疾患に関する新たな診断基準・治療指針を作成することを目的に、旭川医科大学をはじめ共同研究施設から炎症性腸疾患に関するデータを集約し、解析することによって、新たな知見を得る可能性があるとともに、新たな診療のネットワーク形成にも大きな役割を果たすもの。

研究責任者 内科部長 杉村浩二郎